

建築技術性能証明書

技術名称：PSD-S 工法Ⅱ
—既製 RC パイルを用いた杭状地盤補強工法—（改定2）

申込者：アンドーパイル販売株式会社 代表取締役 安藤 信行
千葉県印旛郡栄町安食三丁目3番26号

技術概要：本技術は、スパイラルオーガを用いて所定の深度まで地盤を掘削し、その掘削孔に圧入力を計測しながら既製鉄筋コンクリート杭（以下、“パイル”と称する）を杭状地盤補強材として圧入する工法である。なお、本工法による補強地盤の鉛直支持力は、基礎底面下の地盤の支持力を無視して杭状地盤補強材の支持力のみを考慮することとしている。

開発趣旨：本技術は、主に小規模建築物を対象とし、低騒音・低振動で、かつ、狭小地での施工性を考慮して開発した工法である。本工法の特徴は、パイルを小径に限定することで、小型施工機による狭小地での施工を可能としていることである。また、パイル圧入前にスパイラルオーガを用いて所定の深度まで地盤を掘削する際、正転による掘削と反転による引き上げを行うことで、排土が極めて少なく経済性と環境にも配慮していることである。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。なお、本証明の有効期間は、平成31年7月末日までとする。

平成28年7月5日

一般財団法人 日本建築総合試験所

理事長 辻 文 三

記

証明方法：申込者より提出された下記の資料および施工試験の立会確認により性能証明を行った。

資料1：PSD-S 工法Ⅱ 性能証明のための説明資料

資料2：PSD-S 工法Ⅱ 設計・施工基準

資料3：载荷試験資料

資料4：更新資料

資料1には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。

資料2は、本工法の設計・施工基準であり、支持力算定式などの設計方法の他、パイルの仕様、施工方法および施工管理方法などが示されている。

資料3には、資料1で用いた個々の载荷試験結果や立会施工試験報告書などが取りまとめられている。

資料4には、施工実績や運用体制の維持状況などがまとめられている。

証明内容：本技術についての性能証明の内容は、単杭状の補強材の鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「PSD-S 工法Ⅱ 設計・施工基準」に従って施工されたパイルの許容支持力を求める際に必要な地盤の極限鉛直支持力は、同基準に定めるスウェーデン式サウンディング試験の結果に基づく支持力算定式で適切に評価できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。